

新たな実証実験テーマ設定型 募集内容

テーマ	No.2	世田谷区立図書館ブックボックス拡充に向けた取り組みについて
主旨	<p>区立図書館では、閉館している時間帯でも予約した資料を受け取ることができるブックボックス事業を小田急線下北沢駅構内と烏山区民センターで運用している。現在は、近隣にある図書館の職員が資料を投函しているが、今後、近隣に図書館がない場所にブックボックスを設置し運用するためには、予約資料をそのブックボックスまで届ける配送の仕組みを新たに構築する必要がある。そのため、配送体制の構築に向けた実証実験を行う。</p>	
募集内容の詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館及び玉川総合支所に資料保管専用ロッカーを1台ずつ設置し、配送・受取の各場面に応じて、ロッカーを配送元・配送先として柔軟に運用する。 ・ロッカー間で配送された資料については、一定期間内(投函後4日以内)に予約者が引き取りに来ない場合、配送先ロッカーから回収し、配送元ロッカーへ戻す運用とする。 ・ロッカーの設置は、事業者が行うものとする。 ・ロッカー間の資料の回収・配送については、事業者が担当者を確保うえ、行うものとする。 ・資料の搬送状況やロッカーの空き状況は、事業者が提供するWebシステム等で確認できる仕組みとする。 <p>なお、配送に必要な物品(配送用バック)については、区が用意したものを使用すること。</p>	
関連する区の既存事業	<p>・下北沢駅、烏山区民センターで実施しているブックボックス事業以外では、類似の事業はない。</p>	
期待する効果	<p>以下の項目から1つ以上にチェックしてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 区民サービスの向上</p> <p><input type="checkbox"/> 事務の改善・効率化</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 財源や人材など経営資源の最適化・効率化</p>	
	<p>・近隣に図書館がない地域の利用者也、この事業を利用して本に触れる機会を得ることができる。</p> <p>※実証実験中の投函数、回収数などにより、どのくらいのニーズがあるか把握する。</p>	
実施予定時期	<ul style="list-style-type: none"> ・準備作業(令和8年4月～6月) ・実証期間 9か月(令和8年7月～令和9年3月) ・令和9年度以降の本格実施を見据えて実証実験を行う。 	
担当部署	教育政策・生涯学習部 中央図書館 担当 杉浦	